

No.	委員	選んだ理由
1	東	<p>大変申し訳ありませんが、この中から選定できる案はありませんでした。あえて強制的に答えるとすれば1です。もちろん短いスローガンで全容を伝えることは難しいですが、少なくともどの自治体にも当てはまる内容は、意欲の低下をまねきかねないと思います。</p> <p>本来であれば、市民とともにつくる計画なので、まちをよく知る方々に話を聞いた上で、何らかの共通要素を導き出して作成すべきだと思いますが、どのようなステップで検討されたのでしょうか。例えば、「癒しのまち」NEXT! DX時代の未来都市館山、のような…。これは駄作ですが、少しでもこのまちの他自治体と異なる特殊性をいれながら、行政も市民もイメージしやすく、来訪者も移住者も目に留まりやすいようなワードを選んでいくべきだと思います。</p> <p>様式1でも書きましたが、先日作成されたサテライトオフィス誘致戦略で、森市長が「心身ともにリラックス、リフレッシュできる癒しの地の確立を目指して」と書いてましたが、この点が個人的には今後デジタル化の進展の中で大事な要素だと思います。</p>
1	安田	人口増・定住を想像させるから。
1	小笠原	館山市の基幹産業は「観光」と考えている。市民目線による将来像を考えることは勿論であるが、市外からの来訪を意識した将来像が良いのではないかと。館山市の魅力が活かせる、メッセージ性のある将来像としてNo.1を選択した。
1	伊熊	温暖な気候の中で楽しく過ごせて、自然が溢れて魅力ある館山を外部に発信するキャッチフレーズに相応しい
1	加藤	いて「楽しい」住んで「楽しい」は大事です そんな街に人はひかれてやってくると私は思うのでこの将来像に1票です
1	石川	将来の館山市を担う私たちが、目を向けられるような娯楽施設をつくったり、交通の便を良くすることで、住んでも来ても楽しい館山（まち）になると思ったからです。
1	眞汐	安心安全な環境の中で一人一人が主役になれること。観光産業を中心としたまちづくりで訪れて楽しい。高齢者を都市部から受入れ医療介護産業を進展させる事による所得のアップを図り経済的にもゆとりがある生活が送れる。
2	中島	行政主体ではなく 市民の自分事としての“まちづくり”の意識を高めてもらい 実生活に根差した政策の提言が活かされていくことが 将来のためには必要かと思いました
2	田上	(今までの歴史を継承しつつ、) 今後、みんなで新しい館山の未来を創るのに相応しいと感じたため。
2	本間	<p>今大事なのは、市民・民間、行政内部の方一人一人が、誰かに任せ他責にするのではなく、自らが主体的にまちの未来について考え、小さな一歩を行動することだと感じているからです。</p> <p>また、人口減少を前提としてダウンサイジングしても豊かに暮らせるためには、公民連携で民間の力と投資を呼び込み、それを行政がサポートしていく”みんなで未来をつくる”姿勢が大事だと思いこの案を選びました。</p>

3	高嶋	千葉県では、多様性が尊重され誰もが活躍できる社会の実現を図るため「千葉県多様性が尊重され誰もが活躍できる社会の形成の推進に関する条例」を制定したところであり、「自分らしく」という文言に条例の理念が反映されていると思われるため。
4	三平	「ともに」という言葉がいい。人は人とでしか生きられず、人は人でしか磨かれないと思うので。
4	守安	1～3は限定的 4は広げられる。ただイメージしにくいデメリットもあるが。
4	秋山	館山市の弥栄を願う！
4	石渡	「ともに」という言葉が入っていて良い。“皆で一緒に”という感じがある。
4	鈴木 ひとみ	館山市の将来像を実現するためには、行政だけでなく、市民の活動が活性化することが大切であり、「互いに協力し合う」ことが必要になります。 よって、「ともに育み、ともに織りなす」という言葉が良いと思います。
4	椎葉	館山から出ていく学生が多いので、その人たちがおとなになってまた戻って来たいと思えるような館山であってほしいと思ったからです。